

生パスタを増産

淡路麺業、生産量3倍に

17年度

麺の製造販売をする淡路麺業（兵庫県淡路市）は生パスタを増産する。現在の1日1万食の生産量を2016年度中に倍増し、17年度には3倍まで引き上げる。生パスタの利用拡大に対応する。併せて販路開拓も進

め、出荷先を現在の1200店舗から20年度には1万店舗まで増やす目標だ。同社は3億3000万円を投じて15年12月に新工場を完成させ、最大で1日6万食まで対応できる体制を整えた。工場の

隣には40種類の生パスタが味わえる直営料理店を設け、乾麺とは違った風味や食感、おいしさを引き出す調理法を伝える情報発信拠点と位置づけた。地元農家と組んで原料のデュラム小麦の生産に

も取り組んでおり、15年は使用する原料全体の1%程度に当たる5・8トンの生産に成功した。5年後をめどに年間30トまで増やす。

国内のパスタ市場は乾麺が主流だが、生パスタも浸透してきている。独特の食感や調理スピード

の早さに加え、「どんな食材にも合わせやすいのが特長。売上高は毎年3割程度増えている」（出雲文人社長）という。